

# 人形芝居偶感

東京市麴町の ばら

私共が日々の仕事に對して、絶へず反省し再検討して見るこいふ事がないと、うっかり自分のからには入りこんでしまつて、不思議も起らなければ一向に進歩もしない。適當な指導者を得て研究する事は勿論結論な事と思ふが、

又、お互同志で話し合ふだけでも、「三人寄れば文珠の智恵」何等か得る所があると思ふ。私共の同一區内の幼稚園による小さなグループで行つた人形芝居實演會も、實は「三人寄れば文珠の智恵」でお互に研究し合ふ集りであつたが、其の結果に於ては相當教へられる點があつた様に思ふ。簡單に感じた事を御報告して皆様の御指導を願ふ事とする。

脚本は、從來脚本として出來てゐる物をさけて自作する事(但しお話ししてある物を脚色するは差支へなし)

人形も出來るだけ自作を用ひる事

こいふ約束、當日になるこ皆思ひこ、祕藏の人形こ得意の脚本を持つて集り實演を行つた。

さんごの首輪、桃太郎、白ちやんの鈴、案山子の勳章、小兎ミライオン の出し物であつた。さて其の結果感じ


た點は、  
○舞臺について  
現在多く用ひられて居る舞臺は約三十人から四十人の幼兒、即ち一組位の幼兒數が最も適當で、一五〇乃至二〇〇人も幼兒に見せ様とするには少し小さ過ぎる事はないか。演出者にもよる事と思ふが、大勢に見せる場合は後の子供は相當聞きづらいので何か擴聲する方法をこつたらよいと思ふ。

幕は、二つつけたいと思ふ。場をくぎる時も終りの時もいつも同じ幕でなしに背景を取替へたりする爲の場合は軽い感じの物にして、變化をつけた方がよいと思ふ。照明は、出來たら装置した方がすつこ効果的である。

○背景について  
今まで多く紙に書いた繪が用ひられて居たが、一寸おごつて布にした方が音が立たなくてよい。  
細かく寫生風に書いた物より、大きく簡單に印象的に書いた方が効果的である。たまへば秋の田の所を現すにし

ても、細かく田舎の田の景色を書くより、實つた稻を五六本大きく印象的に現すさいつた方がはつきりしてよいと思つた。

場合によつては黒い無地の布を用ひただけのもよい。

登場する人形ミの色彩的調和を考へる事が必要だと思つた。又背景は無地にしておいて、セットを置いて感じを出すのも大變効果的である。此の場合中間にセットを置くミ舞臺に奥行を見せて面白いと思つた。たゞへば「小兎ミライオン」の場面で、背景は黒い無地、前景右手に兎の家があり、後に森の木立をセットで現し其の中間にやはり森の木のセットを置く。木の間は切り抜いてすかしてあるので小兎の白ちやんが歸つて行く時等、すぐ横に退場せず後方へ行つて此の中間の背景の後を通つて退場して行くミ、いかにも「段々歸つて行くなア」いふ事を思はせて、面白いと思つた。

背景の取替へ方

いつも幕をしめてゴサ／＼ミ幕合の時間をまつて居るミ幼児の興味をそぐ場合があるので簡單にサツト取替へる時もある。

布の背景の上部四五個所に薄い紙をつけ、これを餌で止めて置いて、舞臺の中から引いて落す方法。

又、カーテンの様な装置にして置いて紐を引いて段々に

變へる方法。これは序々に變へたい場合に非常に効果的であると思ふ。たゞへば今まで夜だつたのが段々朝になるさういふ様な時、段々に夜の背景がしぼられて朝の明るい景色が現れるので、今までの様に幕が開いたら朝の景色になつて居たさういふのより、面白いと思つた。

### ○人形について

なるべく大きく、大まかな物を、ミ希望する。其の特徴はやゝ鼓張した方がよい。天狗さういへば鼻が非常に高いさういふ様に：：人形の衣裳は、背景及同時に登場する他の人形ミの色彩關係を考へて作りたいと思ふ。黒い背景に黒い熊が出来たものでははつきりしない。

人形の作り方は、箱、布、新聞粘上等で色々作られて居るが、昨年やはり私達の此のグループで、松葉先生に教へていただいた新聞紙で作る方法は、非常に簡單で面白いので一寸此處に御紹介しておく。

先づ端書を横にして中指に巻き自分の指の太さに丸めて糊づけして置く。

次に新聞紙一枚を普通に二つに折り、更に縦に三つ折にするさ長さ四〇浬幅七浬位の大きさになる。これを前の端書の棒に糊でくる／＼巻きつける。これで一番の元形が出来たので、今度は作らうとする物によつて、高くする所には新聞を細かく切つてのせて、(以下四三頁へ)

○植物ノ栽培動物ノ飼育ヲナサシメ生物愛育ノ念ヲ培フ  
ト共ニ繼續的ノ觀察實驗ニヨリテ持久的ニ研究スル態  
度ヲ養フベシ

○駢姿勢其ノ他訓練ノ效果ヲ日常ニ具現セシムルニカム  
ベシ

○衛生養護ニ留意シ身體検査ノ結果ヲ參酌シテ適切ナル

(二七頁より續く)

改良半紙のほごを細く切つた物に糊をつけてぎめて行く。人間の鼻鳥、の嘴、狼の口等の出張る所はやはり端書  
の古を用ひてつける。大體形の出來上つた所で白い改良  
半紙を上から一通り張り、乾して繪の具で色をつける。

小さい人形を作りたい時は新聞紙を半分にするればよい  
が、今の舞臺で用ひる人形としては一枚を用ひたのが一  
番適當であらうと思ふ。此の方法は實に簡單で自分々々  
の思ふ形に作れるので愉快である。

人形の使ひ方について

動作はなるべく自然に……

あまり首を振つたり、せわしく手を上下したりするのは  
見て居てわづらはしく下品である。自分が其の人形にな  
り切つて、自分が其の時にする動作そのまゝをすればよ  
いと思つた。

○脚本について

指導ヲナスベシ

○歌詞及ビ樂曲ハ國民的ニシテ兒童ノ心情ヲ快活純美ナ  
ラシメ徳性ノ涵養ニ資スルモノタルベシ

○發音及ビ聽音ノ練習ヲ重ンジ自然ノ發聲ニヨル正シキ  
發音ヲナサシメ且音ノ高低強弱音色律動初音等ニ對シ  
鋭敏ナル聽覺ノ育成ニカムベシ

幼兒に適する物さいふ事は勿論で其の長さも二十分位で  
終る物が適當ではないかと思ふ其の筋全部を演出せず  
も、其の最もねらふ所を行つて、他は適當にカットして  
もよいと思ふ。たゞ此の場合前後のつながりをよくつけ  
るさいふ事は脚色者の腕による所であらう。

演出に當つて

書いた物で讀むよりも、其れを人形で行ふ場合には幼兒  
にはつきり受け入れられる爲に、スリルミいはふか、  
幼兒にヒヤ／＼させる様な場面に於ては餘程注意が必要  
だと思ふ。あまりに度が過ぎない様、あつさりとする事  
が大切であると思つた。

尙ほよい音樂を併せて用ひる事はよいと思ふ。  
最後に、色々研究し、改めて行く事は最も必要である  
が、幼兒を對照であるさいふ事を必ず頭の中に於て、あ  
まりに行き届き過ぎて、幼兒に想像の餘地をなくしてし  
まふ事の無い様、注意しなければならぬと思つた。